

令和2年度卒業式

象頭の山を吹く風はまだ冬の厳しさを残しながらも、徐々に春の躍動を感じさせるようになりました。明るく春の日差しに包まれた今日の佳き日に、香川県立琴平高等学校 第七十二回卒業証書授与式を挙行できますことをたいへん光栄に存じます。公私ともどもご多用の中、ご出席をいただきました皆様方には、厚くお礼申し上げます。

本校普通科の課程を終え、ただ今卒業証書を授与いたしました百九十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、入学以来、一緒に歩んでこられたご家族の方々、今日の日を迎えて大きな喜びを感じておられることと思います。心よりお祝い申し上げます。

皆さんは平成三十年四月に、夢と希望に胸を膨らませて、本校の門をくぐりました。以来、学習や部活動、学校行事、そしてボランティア活動に全力で取り組み、充実した高校生活を過ごしてきました。しかし、二年生の二月に突如、新型コロナウイルスの蔓延により臨時休校となりました。一時的に解除されましたが、この休校は五月まで続くこととなりました。高校生活は約千日です。そのうちの約百日が奪われたこととなります。このほかにも学校行事の縮小や中止、部活動での総体やインターハイの中止等、私たちはコロナ禍で言葉では言い尽くせないくらいの多くのものを失い、今も失い続けています。しかし逆にコロナ禍であったからこそ、また新しい生活様式となった今だからこそ、学んだこと、得たものも多いのではないのでしょうか。日常の何気ない出来事がいかに尊いことか、当たり前が実は当たり前ではなく、いかに儂いことかを知りました。そして、どのような状況下でも負けない心と、しなやかな生き方も学びました。

パナソニックの創業者、松下幸之助氏は「凡事徹底」という言葉をよく使われていました。「何でもよいような当たり前のことを徹底的に行う」という意味です。松下氏が訪問した会社の経営がうまくいっているかを評価する基準はいたってシンプルで、「従業員の挨拶」「整理整頓」「トイレの清掃」です。この三つを見ればその会社の様子がだいたい分かれると言われました。これを学校にあてはめると「校内に爽やかな挨拶が飛び交い、教室や校舎が整理され、トイレがきれいな学校」です。皆さんは、普段からこのことを実践してきました。今すぐに結果がでなくても、いつか自分の身に大きな幸せとなって返ってくるはずです。

また、フランスの子ども向けのなぞなぞにこのようなものがあります。池に睡蓮があります。睡蓮は成長が早く毎日二倍の速さで成長します。この池は三十日ですっかり覆われてしまいます。さて、この池の半分が覆われるのは何日目でしょうか。答えが分かった人もいるでしょう。そうです。二十九日目、完全に覆われる前の日です。十五日目ではほとんど気づかれない程度しかないのです。皆さんの努力も、すぐには現れないとしても、必ず現れる時がきます。皆さんの高校時代の楽しかった思い出や苦しかったけど最後まであきらめずに努力したこと、コロナ禍で自粛しながらも知恵を出し合い助け合いながら学校行事を成功させた経験はきっとこの先の人生で花開くでしょう。

皆さんは今日の卒業の日を迎え、明日からは高校というステージから、次のステージへと歩みを進めていきます。これから皆さんが進んで行く社会には、身近な課題から地球規模の課題まで山積しているでしょう。しかし、ひるむことはありません。校訓「誠意・熱意・創意」のもと琴平高校は、この三年間、渾身の力で、どんな困難にも立ち向かい、乗り越えていく力を皆さんの中に育ててきたと確信しています。さあ、今の自分に自信を持って夢をかなえるために旅立ちの一步を踏み出しましょう。

最後に、本校の教育活動にご理解ご支援をいただきました、保護者の皆様方、また地元の皆様方に厚くお礼を申し上げますとともに、卒業生の皆さんの末長いご健勝とご多幸を祈念し、式辞といたします。

令和二年三月一日

香川県立琴平高等学校

校長 志賀 紀之